



# Windowsでバックアップを構成する

## Active IQ Unified Manager

NetApp  
October 15, 2025

# 目次

Windowsでバックアップを構成する .....	1
Windowsのバックアップ場所を設定する .....	1
ONTAPクラスタの設定 .....	2
Windowsホスト マシンの設定 .....	2
Windows でスナップショットコピーの保存先を指定する .....	3

# Windowsでバックアップを構成する

Active IQ Unified Managerは、WindowsオペレーティングシステムでのNetApp Snapshotを使用したバックアップとリストアを、iSCSIプロトコルを使用するLUNを利用してサポートします。

Snapshotベースのバックアップは、Unified Managerのすべてのサービスの実行中に作成できます。このバックアップでは、データベース全体にグローバルな読み取りロックが適用されて同時書き込みが回避されるため、Snapshotには整合性が取れた状態のデータベースがキャプチャされます。Windows OSにインストールされたUnified ManagerでNetApp Snapshotを使用したバックアップとリストアを実行するには、まずメンテナンス コンソールを使用してUnified ManagerのバックアップをSnapshotベースに設定します。

Unified ManagerでSnapshotコピーの作成を設定する前に、次の設定タスクを実行する必要があります。

- ONTAPクラスタの設定
- Windowsホスト マシンの設定

## Windowsのバックアップ場所を設定する

WindowsでUnified ManagerをバックアップしたあとにSnapshotコピーを格納するためのボリュームを設定する必要があります。

開始する前に

クラスタ、Storage VM、およびボリュームが次の要件を満たしている必要があります。

- クラスタの要件：
  - ONTAP 9.3以降がインストールされている必要があります
  - 地理的にUnified Managerサーバに近い場所に設置する必要があります
  - Unified Managerによって監視されます
- Storage VMの要件：
  - ONTAPクラスタ上の iSCSI 接続
  - 構成されたマシンでiSCSIプロトコルを有効にする必要があります
  - バックアップ構成には専用のボリュームと LUN が必要です。選択したボリュームにはLUNを1つだけ配置し、それ以外は何も含めないでください。
  - LUN のサイズは、9.9 Active IQ Unified Managerで処理されると予想されるデータ サイズの 2 倍以上である必要があります。

これにより、ボリュームにも同じサイズ要件が設定されます。

- すべての読み取り/書き込みアクセスが選択されていることを確認してください
- エクスポートポリシーでスーパーユーザーアクセスが「any」に設定されていることを確認してください。
- ボリュームとLUNの要件：

- ボリュームは、Unified Manager MySQL データ ディレクトリの少なくとも 2 倍のサイズである必要があります。
- セキュリティスタイルはWindowsに設定する必要があります
- ローカルスナップショットポリシーを無効にする必要があります
- ボリュームの自動サイズ設定を有効にする必要がある
- パフォーマンスサービスレベルは、「Extreme」など、IOPSが高くレイテンシが低いポリシーに設定する必要があります。

## ONTAPクラスタの設定

WindowsシステムでSnapshotコピーを使用してActive IQ Unified Managerをバックアップおよびリストアするには、事前にいくつかの設定手順をONTAPクラスタで実行する必要があります。

ONTAPクラスタは、コマンド プロンプトまたはSystem Managerユーザ インターフェイスを使用して設定できます。ONTAPクラスタの設定では、Storage VMにiSCSI LIFとして割り当てることができるようにデータLIFを設定します。次に、System Managerユーザ インターフェイスを使用してiSCSI対応のStorage VMを設定します。このStorage VMに静的ネットワーク ルートを設定し、LIFが発信トラフィックにネットワークを使用する方法を制御する必要があります。



バックアップ設定専用のボリュームとLUNが必要です。使用するボリュームにはLUNを1つだけ配置します。LUNのサイズは、Active IQ Unified Managerでの処理が想定されるデータ サイズの2倍以上にする必要があります。

次の設定を行う必要があります。

手順

1. iSCSI対応のStorage VMを設定するか、同じ設定の既存のStorage VMを使用します。
2. 設定したStorage VMにネットワーク ルートを設定します。
3. 単一のLUNを含むボリュームを適切な容量で設定し、そのLUN専用になるようにします。



System Managerで作成されたLUNの場合、LUNのマッピングを解除するとigroupが削除されてリストアが失敗することがあります。この状況を回避するには、LUNを明示的に作成し、LUNのマッピングが解除されても削除されないようにします。

4. Storage VMにイニシエータ グループを設定します。
5. ポートセットを設定します。
6. igroupをポートセットと統合します。
7. LUNをigroupにマップします。

## Windowsホスト マシンの設定

NetApp Snapshotを使用してActive IQ Unified Managerをバックアップおよびリストアする前に、Windowsホスト マシンを設定する必要があります。Windows ホスト マシンで

Microsoft iSCSI イニシエーターを起動するには、検索バーに「iscsi」と入力し、**iSCSI** イニシエーター をクリックします。

開始する前に

ホスト マシン上の以前の設定をすべて消去する必要があります。

Windowsの新規インストール時にiSCSIイニシエータを起動しようとする、確認のプロンプトが表示され、確認すると[iSCSIイニシエーターのプロパティ]ダイアログ ボックスが表示されます。既存のWindowsインストールの場合は、[iSCSIイニシエーターのプロパティ]ダイアログ ボックスが開き、非アクティブまたは接続しようとしているターゲットが表示されます。そのため、Windowsホスト上の以前の設定をすべて削除する必要があります。

手順

1. ホスト マシン上の以前の設定をすべて消去します。
2. ターゲット ポータルを検出します。
3. ターゲット ポータルに接続します。
4. マルチパスを使用してターゲット ポータルに接続します。
5. 両方のLIFを検出します。
6. Windowsマシンでデバイスとして設定されているLUNを検出します。
7. 検出されたLUNをWindowsで新しいボリューム ドライブとして設定します。

## Windows でスナップショットコピーの保存先を指定する

Active IQ Unified Manager Snapshotコピーのデスティネーションには、いずれかのONTAPクラスタですでに設定済みのボリュームを指定する必要があります。デスティネーションはメンテナンス コンソールを使用して定義します。

- Active IQ Unified ManagerがインストールされているWindowsホストの管理者権限が必要です。
- Unified Managerサーバのメンテナンス コンソールへのログインが許可されているユーザIDとパスワードが必要です。
- クラスタ管理IPアドレス、Storage VMの名前、ボリュームの名前、LUNの名前、およびストレージ システムのユーザ名とパスワードが必要です。
- ボリュームをネットワーク ドライブとしてActive IQ Unified Managerホストにマウントし、マウント ドライブを用意しておく必要があります。

手順

1. Power Shellを使用して、Active IQ Unified ManagerシステムのIPアドレスまたは完全修飾ドメイン名に接続します。
2. メンテナンス ユーザ (umadmin) の名前とパスワードでシステムにログインします。
3. コマンドを入力してください `maintenance\_console` Enter キーを押します。
4. メンテナンス コンソールの メイン メニュー で、バックアップの復元 オプションの番号を入力します。
5. \* NetAppスナップショット バックアップの構成\*の番号を入力します。

6. iSCSIを設定するオプションの番号を入力します。
7. 提供する必要のある情報を確認して、「バックアップ構成の詳細を入力」の番号を入力します。
8. Snapshotを書き込むボリュームを指定するには、クラスタ管理インターフェイスのIPアドレス、Storage VMの名前、ボリュームの名前、LUNの名前、ストレージ システムのユーザ名とパスワード、およびマウント ドライブを入力します。
9. この情報を確認して入力してください y。

システムで次のタスクが実行されます。

- ストレージVMが検証されました
  - ボリュームが検証されました
  - ドライブをマウントし、ステータスを検証します
  - LUNの存在とステータス
  - ネットワークドライブの存在
  - マウントされたボリュームに推奨スペース（mysqlデータディレクトリの2倍以上）が存在することが検証されています
  - ボリューム内の専用LUNに対応するLUNパス
  - igroup名
  - ネットワークドライブがマウントされているボリュームの GUID
  - ONTAPとの通信に使用されるiSCSIイニシエータ
10. メンテナンス コンソールを終了してActive IQ Unified Managerインターフェイスを起動し、Snapshotコピーのスケジュールを作成します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。